



ニイガタ株式会社

価値共創で研究開発の ブレイクスルーを

- Run with Researchers -





Run with
Researchers



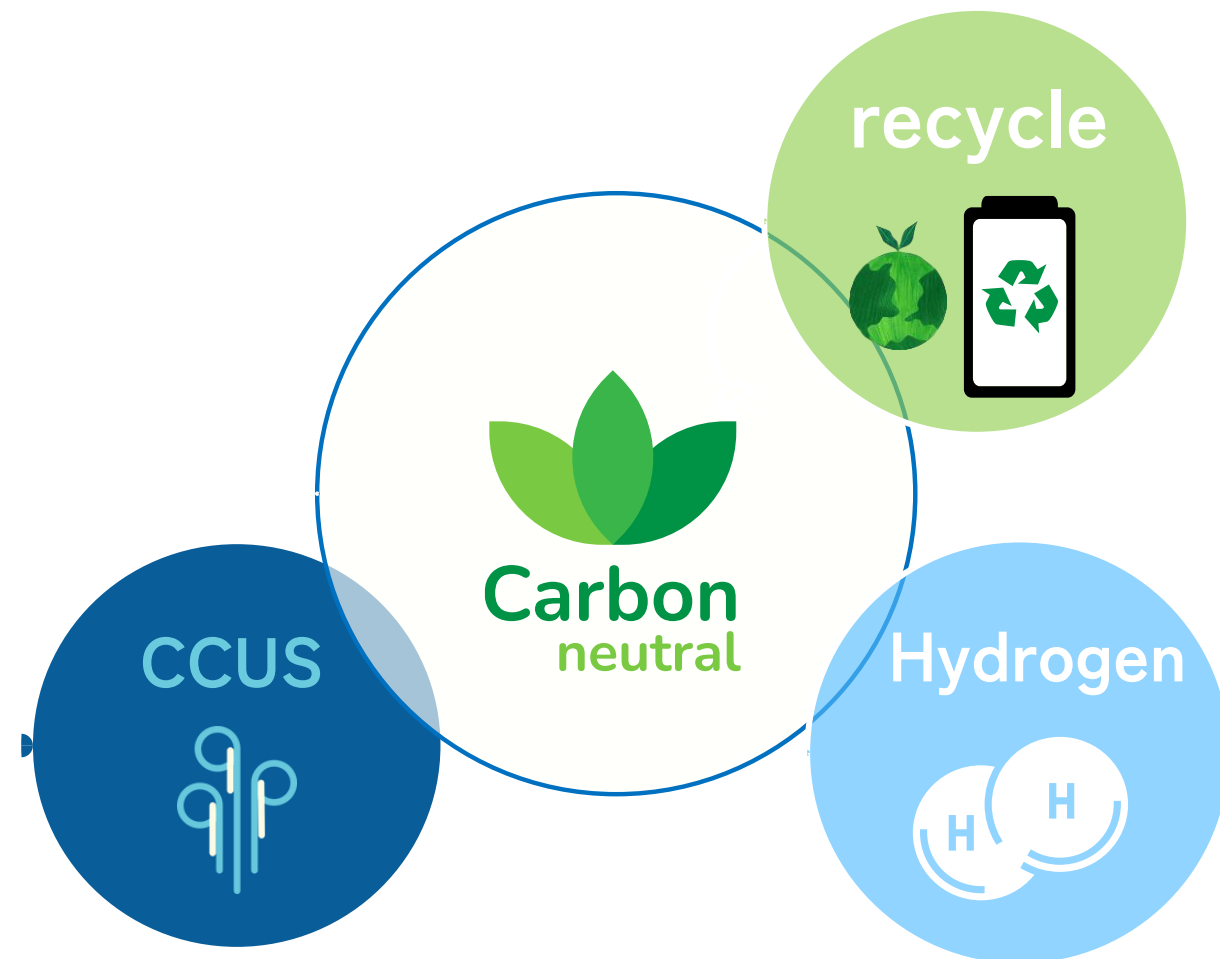


社名	ニイガタ株式会社
本社	神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-12-5
従業員	20名
サービス内容	研究開発サポートサービス 研究開発ナレッジサービス R & D コンサルティング
川崎サテライト	神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-10殿町コネクト
ミッション	研究開発を通じてエネルギー・再生エネルギーの発展に寄与すること
ビジョン	世界中の研究開発において不可欠な存在になる
バリュー	新たな技術を追求めし独創性を生み出す 全ての人・モノへの感謝を大切にする 想像を超えた提案とスピードで支援する





研究開発サービス



研究開発サポートサービス（試作開発支援／プロトタイプ技術開発）

研究開発ナレッジサービス（受託研究／共同開発／共同研究）

R & D コンサルティング（技術コンサルティング／知的財産支援）

主なエネルギー分野

リチウムイオン
電池

水素燃料
電池

人工
光合成

人工光合成
／ギ酸

Cryo-DAC

CO₂回収
・変換

LIB
リサイクル



ニイガタ株式会社へのお問い合わせ数は あらゆる産業から年間 **800** 件以上

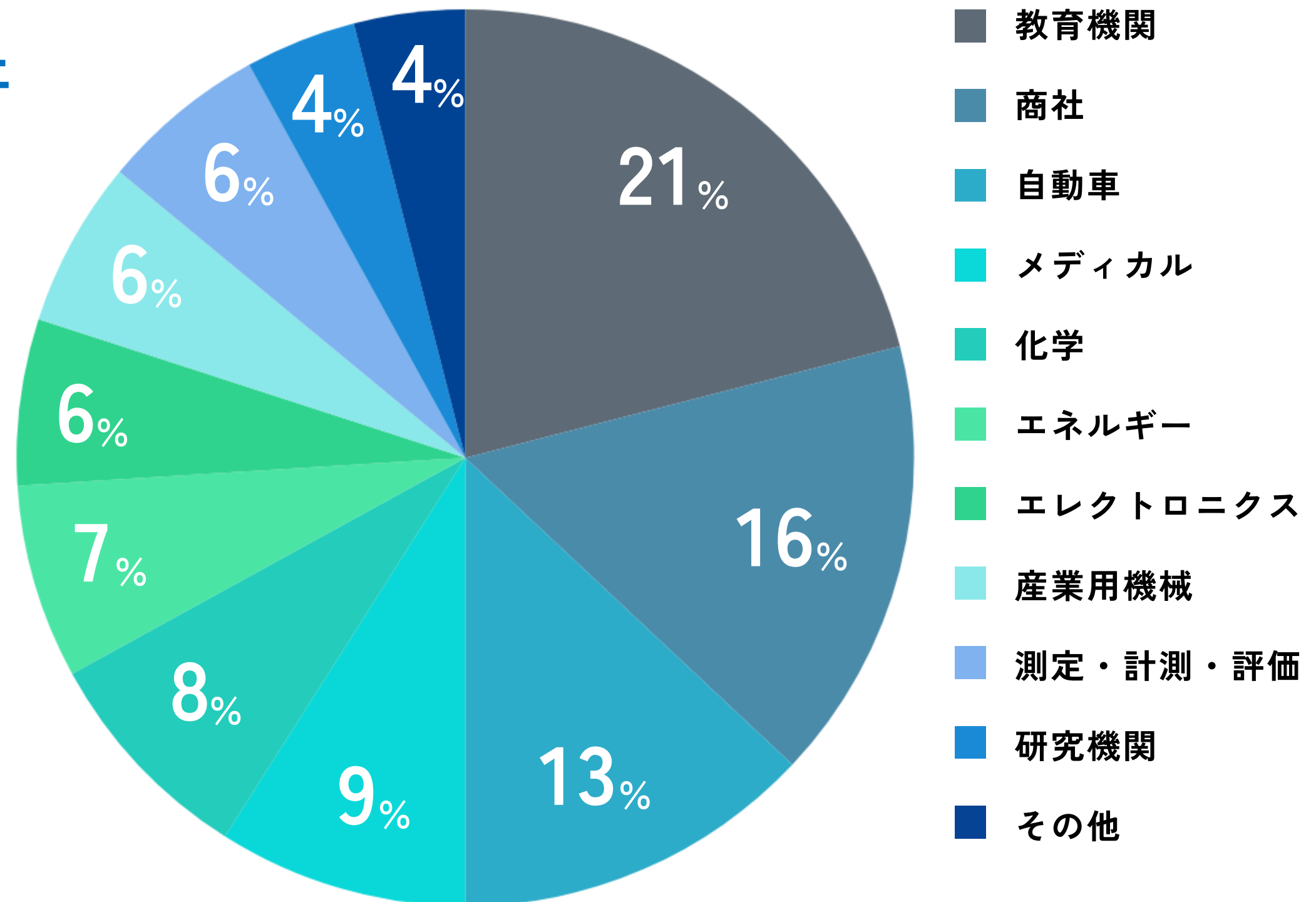
様々な業界カテゴリーのビジネスロジックの中で培ってきた
ノウハウや技術知見を組み合わせることで、
最適な研究開発サービスを実現できます。

当社はお客様の研究開発に関するパートナーとして
共に考え課題解決に向けた
新しい価値の創出をご支援いたします。

また、国立・私学の大学、民間企業の研究部門や
公的研究機関などからの依頼も急増しており、お客様の
課題解決を行う伴走型ソリューションに力を入れております。

お客様の課題を探索し解決につながる
ソリューションを提供しております。

案件内容





私たちはカーボンニュートラルの実現のためお客様の価値創造をご支援いたします

ニイガタでは、持続可能な未来実現のために水素・CCS・CCU・CCUS、エネルギー資源回収の技術研究へ取り組まれている世界中の研究者の方々が理想の研究を行えるよう皆さまに寄り添い、共に考えてまいります。

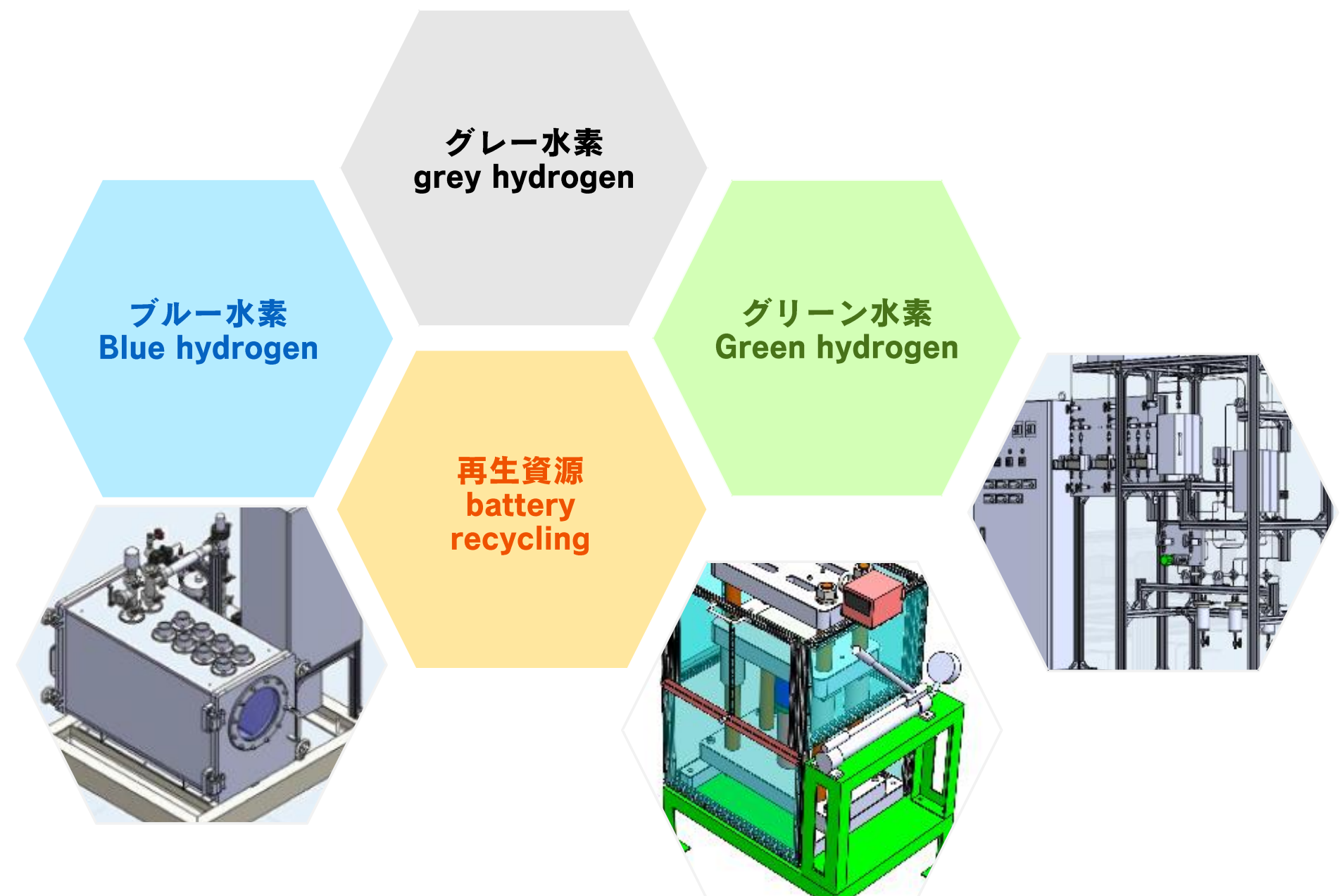
ニイガタの使命

私たちはお客様が研究開発に専念でき成果を上げられる環境をご提供することが重要な使命であると考えています。

研究開発者のご相談、ご依頼には何一つとして同じものはありません。

そこには「やってみないと分からない」作ってみないと知ることのできない、お客様と一緒に踏み込まないと見えない世界が存在しています。

私たちはそれを研究開発サービスとして捉え、常に幅広いフィールドでご支援できるようにお客様のご依頼をお待ちしております。



御社の実証実験は、どの段階にありますか？

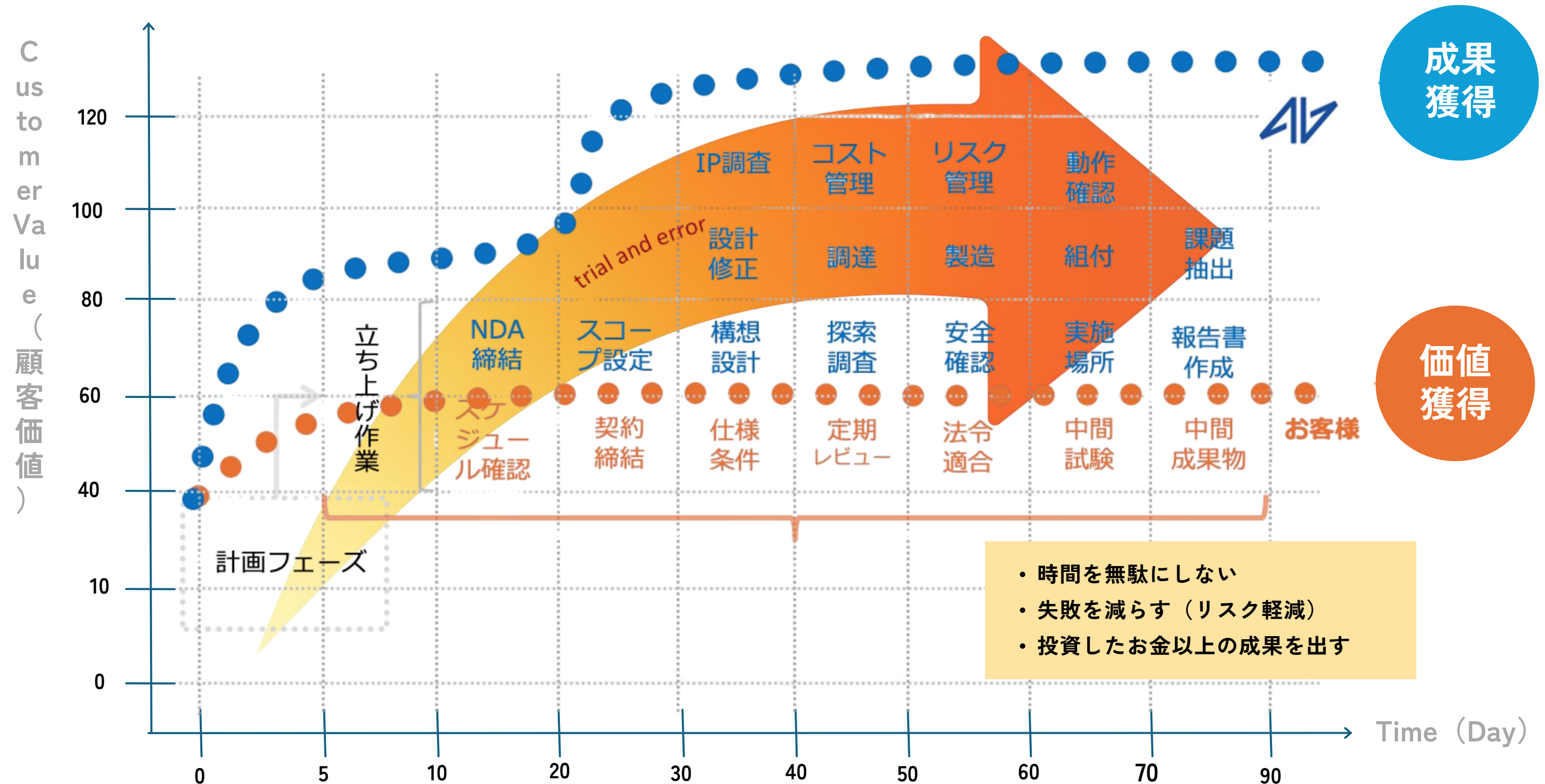


開発フェーズ	よくあるお悩み/ご質問	当社の共創アプローチ
構想段階	何をどこまで依頼するか 責任分界点が分からない	スコープ設定とスケジュール/ KPIゴールやIP、契約内容の確認
ベンチ実証前	実験環境や器具・治具が整わない	試験設計～設備構築まで支援
レポート作成（報告書）	クォーターごとの報告書が必要だが レポート作成もしてほしい	BOM作成、調達、工程毎の写真・動画、 データ記録などをご提供
試作段階	冷熱制御や安全設計が不安	現場（設置場所）を前提とした 構成案をご提示
パイロット	現場連携・体制整備が 社内基準に追いつかない	プロジェクト設計とマネジメント併走

「共創による成果」こそ、研究開発サービスの本



当社の研究開発サービスは「時間短縮」「リスク削減」「費用対効果」だけでなく、
将来の事業競争力など“成果を共創する投資”となります。



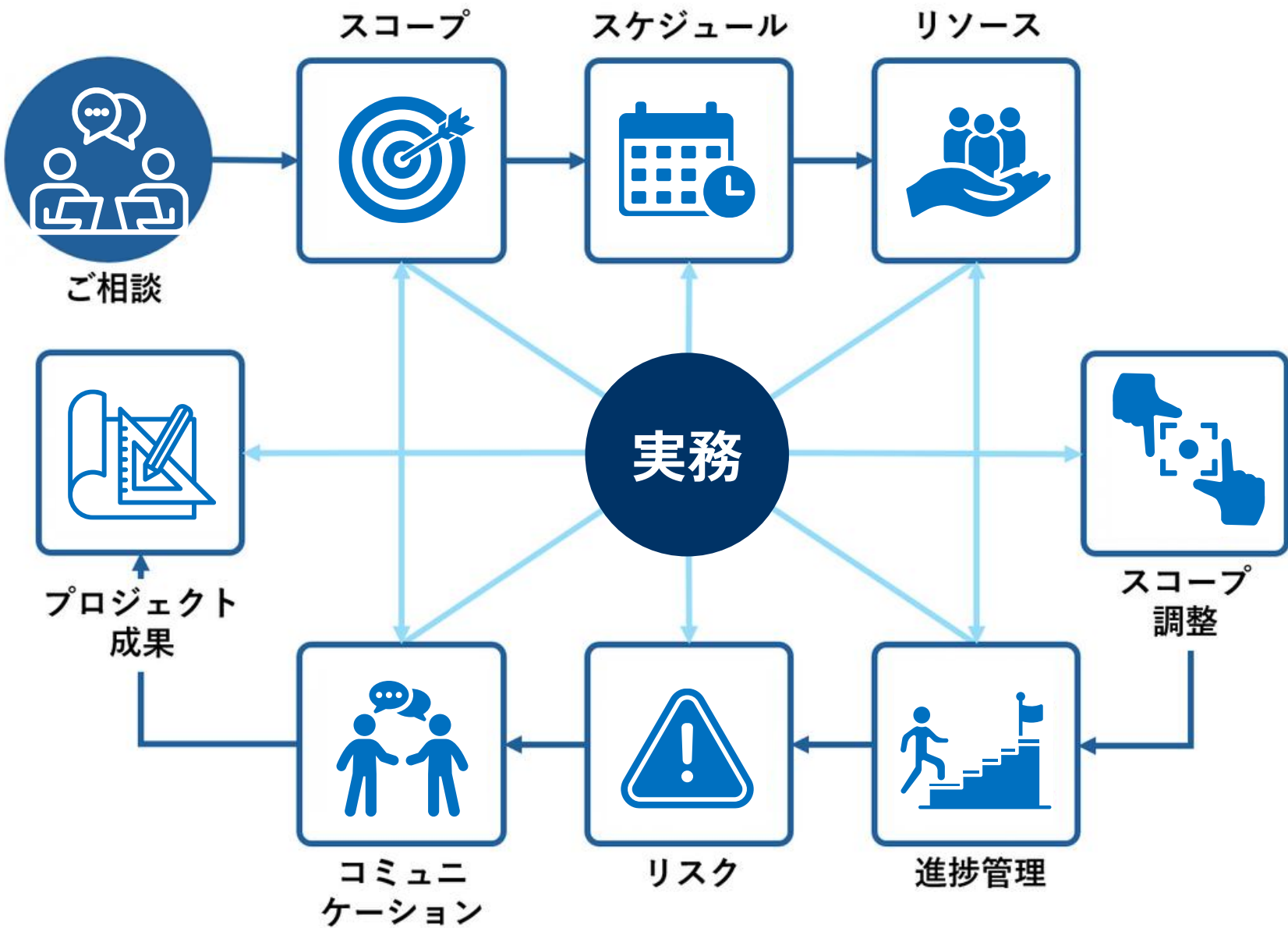


制約を超え、未来をつくる研究開発者の伴走者として、地域・産業・社会に貢献する
皆さまの挑戦をぜひお聞かせください。

価値観・優先事項・専門用語が交わらない	
再エネは機械工学・化学プロセスが中心	脱炭素の社会価値
医療は規制・臨床・患者リスクが中心	QOL向上・未病対策
ナノは材料科学・基礎物性が中心	スマート医療と性能革新

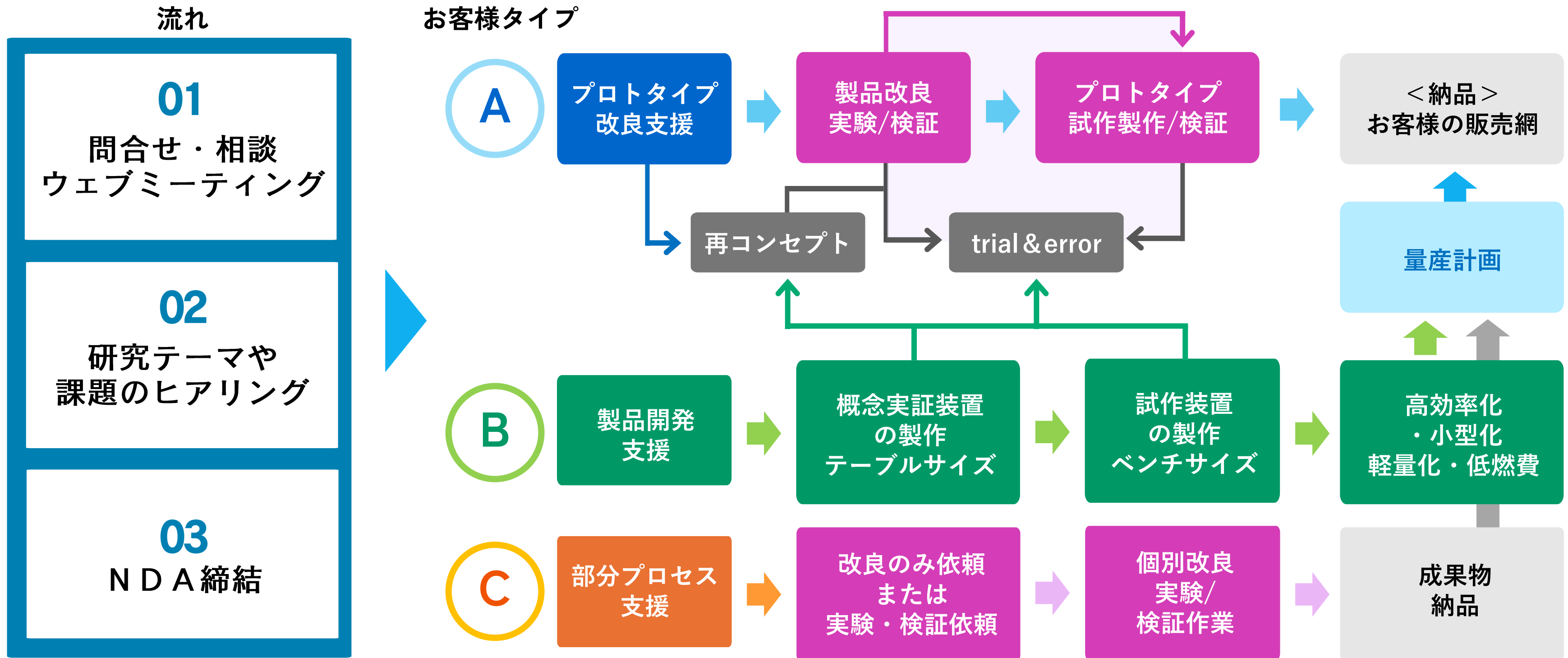


プロジェクト管理で共創の流れを定義する



支援別タイムライン

ヒアリングから試作等の計画・KPI・制約条件を明確化し、意思決定を加速をご支援します。
また、お客様の課題を「実験可能な問い」に変換し短いサイクルで段階的に進めて参ります。





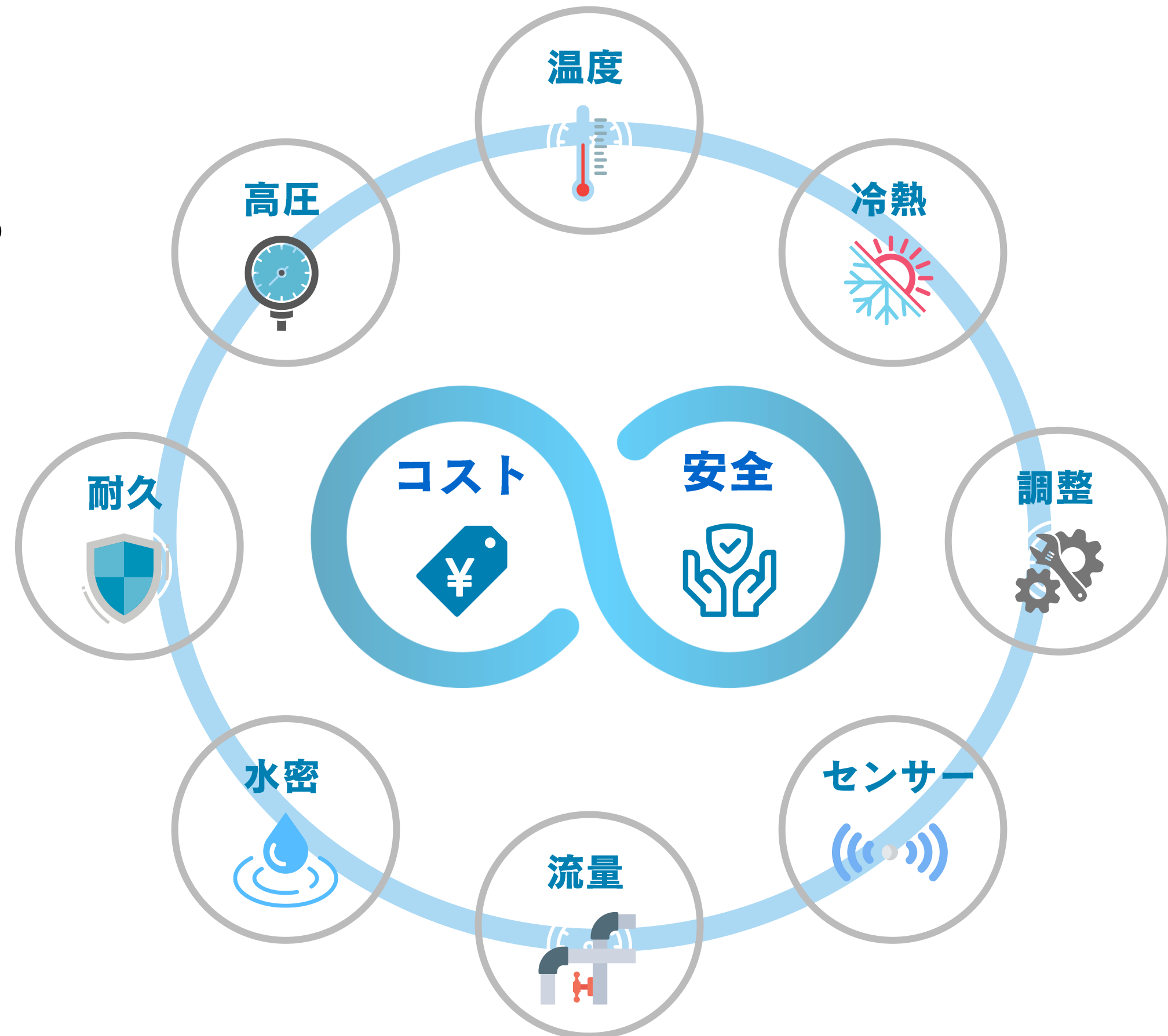
失敗を許容する環境が 技術的不確実性をリスクから価値へ変える

研究開発では不確実性が常態です。

だからこそ試行錯誤（Trial & Error）を
高速で回す仕組みが成果を左右します。

温度・圧力・流量・冷熱・水密・センサー・耐久・
チューニング等の多要素を段階的に調整し、
学習を蓄積して最適仕様へ収束させます。

ループの回転速度（サイクルタイム）と
学習量（実験回数・知見数）を高めることで
リスクを分散しつつ最適仕様への収束を加速させます。

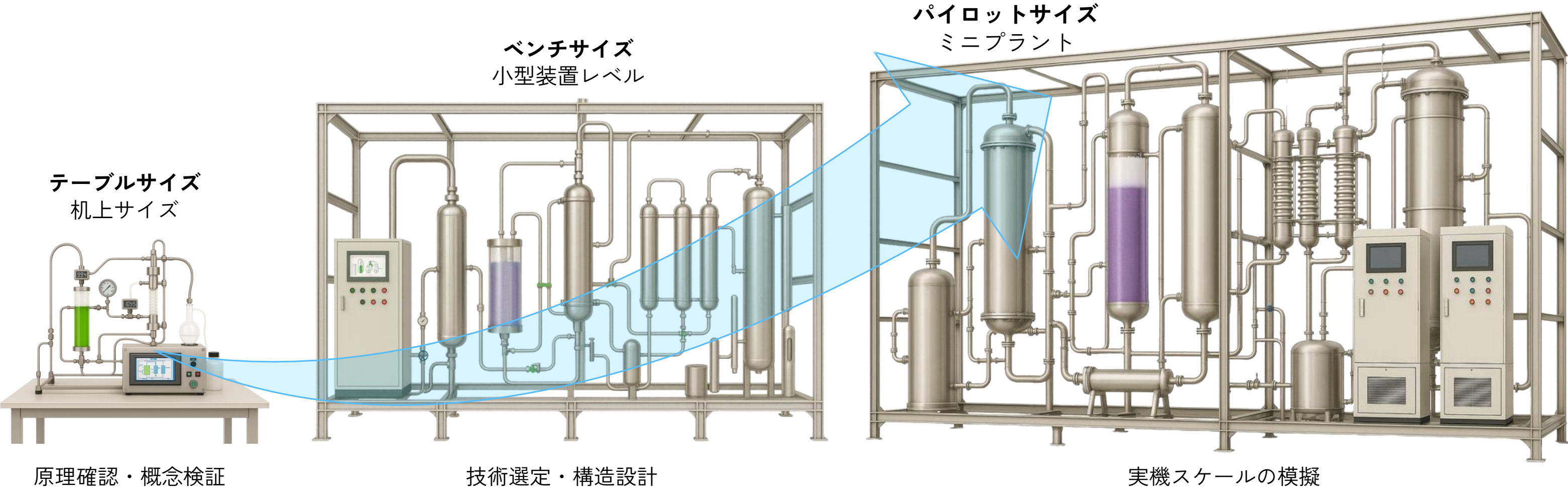


段階的なスケールアップが可能＝リスク分散 タイプB



弊社では“小さく試して大きく育てる”研究開発の仕組みをご提供しています

お客様が抱える課題や疑問にお応えする	ニイガタの強み
装置開発やスケールアップでいきなり実機スケールはコストもリスクも高い	テーブル～パイロットスケールまで、 失敗を許容しながら前に進める環境こそ 技術開発の最大のリスクヘッジです
各段階での検証環境、ステークホルダーの確保や管理が煩雑（時間・コスト・安全基準等）	
外部に依頼しているが“領域が限られており”一気通貫でできるパートナーが少ない	



どの局面から依頼してもステージゲートで確実に前進 タイプC



研究開発のバリューチェーンをプロジェクト型（ステージゲート）で設計。

部分委託でも全体最適を崩さず、品質・安全・コスト・スケジュールの四点を統制して最終成果に収束させます。

第一四半期ゲート

第二四半期から第三四半期ゲート

最終四半期ゲート

構想段階

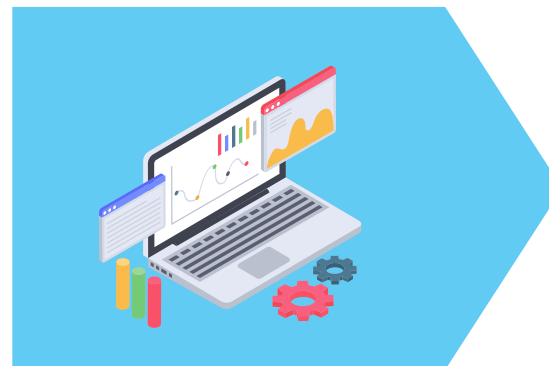
ベンチ実証前

製品開発実験 ・検証

レポート作成 (報告書)

試作段階

パイロット



スコープ設定と
スケジュール/KPI/
ゴール、契約内容の確認

BOM作成、調達、
評価治具・試験設計
～設備構築まで支援

製品改良、製品テスト、
検証確認

工程毎の写真・動画、
データ記録などを
ご提供

現場（設置場所）を
前提とした構成案を
ご提示

プロジェクト設計と
マネジメント併走



既存の計画
アイデア創出
構想段階



ステージ 1
初期調査



ステージ 2
ビジネスプラン



ステージ 3
開発



ステージ 4
テストと検証



ステージ 5
市場投入